

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

2017年9月14日 (木)

NO. 790号 本号4頁

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

市民連合が全国意見交換会開催！

全国から190人が参加し、野党共闘の発展にむけて交流

市民連合（安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合）は10日、都内で「市民と野党の共闘の深化と総選挙に向けた戦略」をテーマに、第4回全国意見交換会を開催しました。全国から190人が参加し、野党共闘の発展にむけて交流しました。

第一部は全体会。司会の佐藤学・学習院大学教授は、安倍政権の支持率急落、北朝鮮問題、民進党をめぐる状況をあげて「情勢は緊迫している。今、大きなターニングポイントにある。そのかじをどこに向けていくのかが今日の主題になる」と述べ、「野党共闘しかないという選択が確実に政治を動かしてきた」と強調し、「再びこの道を確認し、私たちが奮闘し、新しい道を開くことを確認したい」と訴えました。

開会あいさつに立った「総がかり行動実行委員会」の高田健共同代表は、「安倍政権の腐敗した政治が急速に進んでいる」と批判し、「これ以上、安倍政権が続くことは認められない。安倍政権を倒すには、立憲野党4党と市民が結束してたたかう以外にない。たたかうことによって打開できる」と強調し、「全国の市民運動のがんばりを大切に、立憲野党と結束し、この道を切り開いていきましょう」と訴えました。

専修大学の広渡清吾教授は、市民連合の特徴として①安倍政権ノー、反立憲主義、反民主主義、反平和主義の政治に対して、政権を変えるというトータルな要求を掲げている、②安倍政権に反対する野党を後押しして、市民の力を接着剤にして野党の共闘、連合政権をめざしていることにあるの2点をあげました。そして、安倍政権を倒し、新しい政治をつくるには、野党と市民の新しい関係が必要だと述べ、「どんな役割を果たすことができるか、議論していきたい」と話しました。

法政大学の山口二郎教授が「政治状況の整理」と題して報告しました。昨年の新潟県知事選挙にふれて、争点の明確化、候補者の一本化、有権者の関心の高まりと投票率の向上という三つの条件がそろうことが大切だと指摘。政権交代の展望として、穏健保守からリベラル、革新勢力の大結集とあわせて、5年先の日本を立て直す政策の共有が必要だと語り、最後に「希望とは地上の道のようなものである。もともと地上に道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ」と結びました。

その後、宮城、埼玉、青森の代表から各地のとりくみが報告され、そして、事務局から「政策協議の進め方」「市民選挙の取り組み」の報告がありました。

昼食休憩後、**第二部の分科会。**各分科会でグループディスカッションが行われました。

第三部は全体会。各分科会からの報告が行われ、最後に中野晃一氏が「野党共闘の今後」とのテーマで報告しました。



来年の通常国会で発議めざし、改憲推進本部議論再開

自民党憲法改正推進本部は12日に全体会合を開催し、自衛隊の存在を明記する憲法改正の条文を巡って、議論を行いました。

推進本部の保岡興治本部長は、衆参各院の3分の2の賛成で改憲案を発議し、国民投票で過半数の賛成を得るための案づくりに必死です。この日の会合では「自衛官が胸を張って活動できる環境が大事だ」（佐藤正久副外相）、「自衛隊明記を優先し、石破氏の指摘（改憲草案重視）は次の課題にすべきだ」（柴山昌彦筆頭副幹事長）など首相を後押しする意見が目立ちました。

一方、衛藤征士郎元防衛庁長官は「2項を削除しなければ保守層が反対する」と、12年の憲法改正草案の内容で対応するよう発言。非公開の会合でしたが、党幹部は「首相の提案に賛成6、反対4ぐらいの割合だった」と明かしています。

推進本部の保岡興治本部長が約1時間半に及んだ全体会合を締めくくった後、石破茂元幹事長はこの日2回目の発言を求め、「草案がどういうものだったか説明する場を設けるべきだ。そのうえで新しい考え方を議論し、それに決まったら従う。これはきちんとやってほしい」と発言。保岡氏は「草案をしっかり勉強し、お互いの議論を進めていく」と、その場を収めました。12年草案と新たな条文案を並べて議論しなければ石破氏らの説得は難しいと思ったようです。

推進本部は、来年1月召集の通常国会で改憲案の発議を目指す方針を変えていません。会合では「自民党案を両論併記で衆参両院の憲法審査会に提出し、議論を加速させるべきではないか」という意見も出ましたが、保岡氏は併記に否定的です。しかし、衆院補選中は議論を中断せざるを得ず、その後の日程は補選の結果にも左右され、推進本部が現時点で明確な戦略を描けているわけではないようです。

一方、公明党の斉藤鉄夫幹事長代行は12日夜、BSフジの番組で「少なくとも野党第1党とも一緒に発議する態勢ができるまでじっくり議論をしなければ、失敗するのではないか」と述べ、民進党を引き合いに出して自民党をけん制しました。

高村正彦副総裁を推進本部顧問から特別顧問に格上げ 高村氏主導へ

8月の内閣改造に伴い、推進本部の事務局長だった上川陽子氏と、事務局長補佐だった西村康稔氏の実務面をリードしてきた2人が抜けました。保岡興治本部長は12日の推進本部会合で、高村正彦副総裁を推進本部顧問から特別顧問に格上げすると発表。今後、党内論議は高村氏主導で進む見通しです。

また、新設した事務総長には根本匠元復興相、上川氏に代わる事務局長には岡田直樹元副財務相が就任しました。自民党岸田派に所属する根本氏は安倍晋三首相とも近く、9条改正に慎重な岸田文雄政調会長と首相の橋渡し役を務めるとみられます。参院議員の岡田氏は新聞記者出身で、自民党が05年に発表した新憲法草案の起草に携わっています。首相は周辺に高村、保岡、根本、岡田4氏の名前を挙げ「彼らに任せておけばいい」と語っています。

高村氏は12日の自民党役員連絡会で「政府は経済最優先でやっていただき、党の方で憲法の議論をしっかりと慎重にやっていきたい」と述べ、党内の意見集約に意欲を示します。

各地のとらきみ

徳島・新婦人 9♥9 フェスタを開き「9条改憲は許さない」と交流

新婦人の会徳島支部は9日、9♥9 フェスタを開き、9条改憲は許さない、平和とくらしを守るため、11月の全国大会に向けて新婦人を大きくしようと交流しました。

会場に、小组でつくったパッチワーク、布ぞうり、編み物、絵手紙を展示。舞台では、笑いヨガの実演、着物やシャツなどで作った洋服のリフォームファッション、日本舞踊など多彩な活動が

披露されました。また、参加者は、ハート型のメッセージカードに「子どもたちを戦場にいかせたくない」「核も戦争もない平和な世の中に」などと書き、ボードに張り出しました。

治安維持法同盟県本部幹事の喜多啓二氏が、安倍首相の9条改悪の危険性について講演しました。

当日、6人が入会。徳島市の女性は「9条改悪をさせてはいけないことが分かった。生き生きとした活動を見て、一緒に頑張りたいと思います」と語りました。

埼玉 「戦争させない！埼玉の会」が昼デモ

「戦争させない！埼玉の会」は8日、憲法9条に自衛隊を書きこむ改憲反対、航空自衛隊入間基地（埼玉県狭山市、入間市）の拡張反対などを求める「昼デモ」をさいたま市で行い、120人が参加しました。

デモに先立ち、埼玉県庁東門で行われた集会では、3氏が発言しました。

埼玉憲法会議の渡辺征成事務局次長は、全国3000万人から9条改悪反対の署名を集める運動を提起しました。また、「戦争させない！埼玉の会」の柳重雄代表は、多くの国民と連帯しながら9条改悪阻止の運動をしていきたいと語りました。さらに、「ストップ入間基地拡張！市民の会」の榎本よう子さんは、入間基地の拡張高度について、防衛省は地域の全住民を対象とした工事説明会の開催を拒否していると批判。「拡張工事をやめさせることは、安倍政権が全国で行っている米軍強化、自衛隊強化をストップさせる大きな力になる」と訴えました。



千葉 千葉11区市民連合講演会で高橋千葉県憲法会議代表幹事が講演

千葉11区市民連合が主催する「立憲主義&9条と日本国憲法」講演会が3日、千葉県大網白里市で開催されました。

千葉県憲法会議代表幹事の高橋勲弁護士が「安倍改憲の危険な本質、主権者としてどう立ち向かうか」と題して講演しました。

高橋弁護士は「憲法9条に、(自衛隊を明記する)3項を新設する『加憲』が行われると、3項で自衛隊を法律上の規定として合憲化することになり、(戦力の不保持を定める)2項を死文化することになる」と話し、「9条を変えてはだめ。立憲主義を守る。この大きな一致点で手を結び、市民と野党の共闘を前進させよう」と語りました。

今回の講演会には、自由党、日本共産党、新社会党の代表も参加しました。

憲法パンフレット

「憲法9条を変えて『戦争する自衛隊』にしていいのですか」

2週間で2万冊普及！

憲法パンフレットが大好評です。発行から明日で2週間ですが、2万冊を普及できる見通しとなりました。感謝です。「もうなくなる？」との心配は必要ありません、まだ3万冊あります。もう一回り、周りの方に普及していただければと思います。

<パンフに関するニュース1>

「埼玉憲法会議活動ニュース」2017年9月11日号には、「おどろき 駅宣で憲法パンフばか売れ 安倍9条改憲知りたい」と大きな見出し。そして、本文は以下のような記事が掲載されています。

さいたま市内の「九条の会おおまぎ」のHさんは、9日、東浦和駅前で署名をしてくれた6人に「パンフいかがですか？」と、憲法会議が作成した100円の憲法パンフを紹介したところ、全員が購入してくれた「こんなこと初めて」と報告がありました。Hさんはすでに30部普及し、20部追加購入してくれました。市民の九条に対する関心の高さが示されました。

埼玉憲法会議ではパンフレットを500冊購入して普及して来ましたが、在庫が少なくなり、さらに300冊を追加注文し、普及に奮闘しています。埼玉では、新婦人の会県本部も独自に500冊を購入し、普及に奮闘しています。

<パンフに関するニュース2>

パンフを購入された船橋市の元山健さんから、パンフについて、次のような感想が寄せられました。

「戦争をする自衛隊にしていいのですか（「戦争しない自衛隊」ならあってもいい、ということの裏返しとも読めます）という呼びかけ危機の深さを思いしらされております。私は何十年もの間、「月刊憲法運動」の個人読者です。中味を一瞥すると、100円でもったいないほど内容豊富です。これをもとにして、貴会議の優秀な会員のコメントを付ければ本になるかもしれませんね（素人なので皆目自信はありません、当たり前ですが、念のため）。ご奮闘を念じています。

多数冊割引を行っています。

10冊以上1冊80円、100冊以上1冊70円、

500冊以上1冊60円

※送料は別途、ご注文者負担

申し込み・問い合わせは、憲法会議へ

TEL: 03-3261-9007 fax: 03-3261-5453

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 神保町マンション202



19日行動のご案内